

特定健診データからみた島根県における 脳心血管病とそのリスクファクターの現状

さ の ち あき¹⁾ ふ の よし ひと¹⁾ よし おか こ
佐 野 千 晶¹⁾ 布 野 慶 人¹⁾ 吉 岡 みち子¹⁾
なか はた のり こ²⁾ の じま よし あき たに ぐち えい さく¹⁾
中 畑 典 子²⁾ 野 島 慶 明³⁾ 谷 口 栄 作¹⁾

キーワード：脳心血管病，リスクファクター，特定健診，メタボリック症候群

要 旨

【目的】島根県における脳心血管病とそのリスクファクターの現状を明らかにする。

【方法】2014年度レセプト情報・特定健診等情報データベース等を用い，特定健診受診率及び脳心血管病リスクファクターに関する標準化該当比について，比較検討を行った。

【結果】特定健診受診率は，全国に比べて島根県は，男性で0.5%，女性で5.3%高かった。脳心血管病既往者は，男性10～11%，女性7～8%全国よりも高かった。リスクファクターについて，全国に比べ島根県では，高血圧症服薬者，脂質異常症服薬者，収縮期及び拡張期血圧異常者，HbA1c及び空腹時血糖異常者の割合が高かった。加えて，慢性腎不全既往者の割合は，3倍以上高かった。また，BMI異常者，中性脂肪異常者，LDL異常者は全国よりも低かった。

【考察】島根県では脳心血管病既往者とリスクファクター（高血圧症，脂質異常症，糖尿病）保有者が多いことから，今後脳心血管病が増加していく可能性が示唆された。

背 景

2015年の島根県総死亡者数は9,604人と，高齢者の増加等の影響により，年々増加している。死因の上位は悪性新生物，心疾患，肺炎，脳血管疾患，老衰の順で，全国の死亡順位と同様であり，

心疾患及び脳血管疾患が死因に占める割合は大きい¹⁾。

2018年4月に公表された島根県保健医療計画によると，島根県男性の年齢調整死亡率（10万人対）は，心疾患では全国65.4人に対して島根県60.6人と低いですが，脳血管疾患では全国37.8人に対して島根県43.0人，脳出血は全国14.1人に対して島根県14.4人，脳梗塞では全国18.1人に対して島根県22.1人と，全国に比べて高い。一方，島根県女性の年齢調整死亡率（10万人対）は，心疾患では全

Chiaki SANO et al.

1) 島根大学医学部地域医療支援学講座

2) 島根県立大学看護学部 3) 隠岐広域連合隠岐病院
連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部地域医療支援学講座